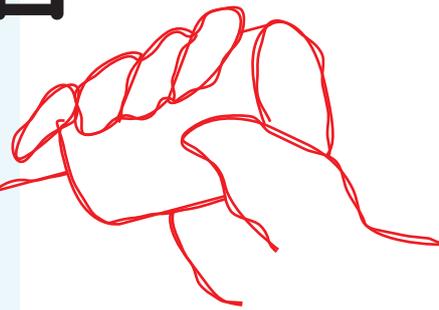


セカイの日本語

日本語教育グローバルネットワークプロジェクト



カナダ日本語教育振興会

×ヨーロッパ日本語教師会

私たちはこれまで「日本語使用者」の多様性についてどれだけ意識してきたでしょうか

近年、日本社会における言語的・文化的多様性に対する理解の必要性が以前に増して認識されるようになってきました。これは今まで日本語教育において日本語や日本語使用者の中に存在する多様性に十分に目が向けられず、また、教育に広く反映されて来なかったことを見つめ直す機会となるのではないのでしょうか。

そのためには、日本語使用者が画一的なものであるという従来の意識から、日本語が様々な地域で学ぶ学習者も含めた多様な使用者の「言語活動」の一環であり、彼らの持つ「ことば」自体であるという理解を育成・促進していく必要があると考えています。本プロジェクトでは、そうした理解に基づいた議論や取り組みにつなげるための活動を行なっています。

多様な日本語使用者の「声」を聞き、お互いの理解について考えてみませんか？



みんなの声

プロジェクトの目標

- ① 日本語の多様性に対する意識の育成
- ② 個人としての多様な日本語使用者への理解促進
- ③ 教室内外での理解を結ぶ実践的な活動の提案

これまでの取り組み

- ① 国内外の多様な日本語使用者とのインタビューの実施
- ② 多様な日本語使用者とのストーリーの共有、発信を目的としたウェブサイトの構築
- ③ ストーリーを使用した多様性に対する理解促進のためのワークショップの実施

ウェブサイトの構成

- ① インタビューを再構成したストーリー
- ② 教育活動におけるストーリーの使用例
- ③ プロジェクトの背景やコンセプトの解説

<http://bit.ly/GNProject>

*ウェブサイトはどなたでも閲覧、ご利用いただけます。



日本のみなさん、恥ずかしがらないで!



ただ聞くと信用するのが大事です



私は「方言」マルチリンガル



21世紀はマルチリンガルが
当たり前になってほしい



自分から踏み出さなければいけない

プロジェクトへの参加、ワークショップの開催などにご興味がありましたら、ご連絡ください!

お問い合わせ: caile.project@gmail.com
Twitter: @CAJLE_ACELJ

カナダ日本語教育振興会: 米本和弘・柴田智子・川口真代・津田麻美・林寿子
ヨーロッパ日本語教師会: 岩崎典子

本プロジェクトの一部はJSPS科研費16K21018及び公益財団法人博報堂教育財団による第14回児童教育実践についての研究助成を受けたものです。